

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 7 年 第 2 回 定 例 会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	高 田 豊 繁	1 観光協会の組織体制の見直しについて	(1) 本町の観光振興対策の要として、ヨロン島観光協会を法人化し、組織体制を強化する必要があると痛感されるが、町長はどのように認識し、指導していく考えであるか。 (2) 観光協会の監査体制については、法人化と並行して公認会計士等による外部監査制度を導入することが望ましいと痛感されるが、町長はそれに向けて指導していく考えはないか。	町 長 町 長
		2 地主神社境内の土地管理の適正化について	(1) 土地の一部に危険な構築物があるので、早期に解体し、土地を明け渡してもらう必要があると痛感されるが、その現状をどのように認識し、その対策をどう講じていく考えであるか。	町 長 教 育 委 員 長
		3 交通弱者対策について	(1) 路線バスを利用できない区域に住む高齢者・障害者に対し、代替交通サービスの提供の必要性が痛感されるが、町長はどのように認識し、その対策をどう講じていく考えであるか。	町 長
		4 さとうきび作の振興対策について	(1) 農作業の委託の効率化と経営規模の拡大を図るため、認定農業者や受託作業者の拡充を図る考えはないか。 (2) 収穫後の中耕培土作業等に係る補助事業を積極的に導入し、農作業の省力化と生産性の向上対策を講じる考えはないか。	町 長 町 長
		5 ため池の水質改善対策について	(1) 東与舎地区のため池の水質は、ほかの所に比べ劣悪な実情にあるが、早急に対策を講じる考えはないか。	町 長
2	町 俊 策	1 最重点引継事項について	(1) 町長は、第 5 次町総合振興計画期間の 5 年目に当たる半ばで引退することになったが、本町の農業・水産	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 7 年 第 2 回 定 例 会 No. 2

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
			業の振興対策及び特産品の開発については、最重点引継事項をどのように認識し、次の新体制にどう託していく考えであるか。 (2) 商工業・観光業の振興対策については、最重点引継事項をどのように認識し、次の新体制にどう託していく考えであるか。	町 長
		2 花のまちづくり対策について	(1) 本町は、パナウル王国を標榜し建国して32年になるが、パナ（花）づくりについては、現在の老人クラブ、女性団体、子供育成会等の取組に加え、長島町の「ぐるっと一周フラワーロードづくり事業」を見習って、町三役の花壇をはじめ、役場各課ごとの花壇等を造成し、年間を通じてその維持管理に当たるなど、町長が先頭に立って花のまちづくりを推進する考えはないか。	町 長
3	供 利 泰 伸	1 沿道の景観整備対策について	(1) 花と緑のまちづくりを進め、本町の魅力を高めるための取組の一環として、ヨロンマラソンコースに町花・町木などを植栽し、行政、各種団体、地権者等が一体となって、景観を整備していく必要があると痛感されるが、積極的に推進する考えはないか。	町 長
		2 地域おこし協力隊の受入れについて	(1) 地方創生が時代の要請となっている中で、地域おこし協力隊制度の実施主体は地方公共団体となっているが、本町ではこれを積極的に導入し活用する考えはないか。	町 長
		3 特産品の開発について	(1) 本町独自の特産品の開発が急務であると痛感されるが、積極的かつ計画的に取り組む考えはないか。	町 長
4	喜 山 康 三	1 ユニバーサルデザインのまち	(1) ユニバーサルデザインとは、文化・言語・国籍の違	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 7 年 第 2 回 定 例 会 No. 3

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
		づくりについて	<p>い、老若男女といった差異、障害・能力のいかに問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計（デザイン）をいうが、この考え方は、主体である町民の健康と文化的な社会基盤の整備を目指したものである。ユニバーサルデザインの考え方に基づくまちづくりを進めれば、既存の施設を見直し改善するための事業だけでなく、新たな事業を創出することもできることから、観光産業の振興など地域経済の活性化にもつながると痛感されるが、町長はこれを推進する考えはないか。</p> <p>(2) 福祉車両による定期船乗降支援事業（仮称）は、定期船への乗降に際して乗客の安全性を確保するとともに、利便性の向上を図るため、車椅子の利用ができる福祉車両を導入することによって、高齢者や障がい者、通院治療者の移動支援を行うことを主な目的とするもので、誰もが楽しく快適に旅行できる環境の整備を目指すものだが、町長はこれを推進する考えはないか。</p>	町 長
		2 公共施設の整備計画について	<p>(1) 新清掃センターの建設場所については、依然として町民の強い反対がある。民主主義社会の合意形成の在り方として強い疑念があるが、町長はこれを見直す考えはないか。</p> <p>(2) 庁舎の建て替え位置については、町庁舎建設検討委員会での協議・結論により決定する予定か。</p> <p>(3) 庁舎の整備計画では、平成 2 7 年度中に敷地を購入する予定となっているが、現在地に建設するのか・移転するのかが未定で、町民の理解も得られていない中</p>	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 7 年 第 2 回 定 例 会 No. 4

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
			では拙速過ぎることから、次期町長に委ねるべきであると痛感されるが、町長はどう考えているか。	
5	麓 才 良	1 地域おこし協力隊の活用について	(1) 国は市町村に対し、地方創生に係る5か年計画「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を求めており、各自治体においてはその取組が始まっている。本町の総合戦略の策定に当たっては、現行の町総合振興計画を中心に、各種の基本計画等を検証しながら、目的・目標を再確認して情報を共有し、住民・NPO・関係団体や民間事業者等が具体的に協働していけるようネットワークを構築することが肝要であると考え。そのためには、各方面からの意見の集約をはじめ、各種データに基づく地域の特性や課題の抽出等が求められることから、国が推進している地域おこし協力隊制度の活用が有効であると痛感されるが、これを導入して取り組む考えはないか。	町 長
		2 与論・沖縄の交流促進について	(1) 国は地方創生の取組として、地域間の広域連携を積極的に推進するよう奨励しているが、本町もこれまでの交流実績等を踏まえながら、沖縄との交流をより一層推進するため、本町における推進母体として与論・沖縄交流促進協議会等を組織し、計画的に取り組むことが肝要であると痛感されるが、これを推進する考えはないか。	町 長

